

# おおぞ

広報大洲

きらめき創造  
—みとめあい—

大洲市  
ささえあう

—  
大洲市  
—

2013  
No.99

4

一緒に遊びましょう！

(お詫び) 広報大洲3月号の8ページで紹介した新成人の写真と氏名が入れ替わっていました。お詫びの上、訂正させていただきます。



二宮 のりこ 典子さん (成能)



ばんの ゆか 伴野 由佳さん(菅田町宇津)

## がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

菅田小学校3年(現:菅田小学校4年)

景 山 大 輝 さん



僕は、小学校1年生から始めた水泳を頑張っています。水泳教室には、ほかの学校の友達もたくさんいるので、毎週通うことが楽しみです。

菅田小学校の先生や友達、みんな優しく明るい人たちばかりです。地域の人も、いつも僕たちに声をかけてくれるので、大きな声であいさつをします。

僕は車が好きなので、将来は車の整備士になりたいです。ただ車を修理するだけでなく、その車に乗る人のことも思いやることだと思います。

### 4月の納税など

納期限は4月30日(火)です

| 税 別           | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---------------|----|----|----|----|
| 市 県 民 税       |    |    | 1期 |    |
| 固 定 資 産 税     | 1期 |    |    | 2期 |
| 軽 自 動 車 税     |    | 全期 |    |    |
| 国 民 健 康 保 険 税 |    |    |    | 1期 |

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を!

### 現在の大洲

|     | 人の動き(先月比)     | 交通事故(昨年同期)   |
|-----|---------------|--------------|
| 人口  | 47,425人 (-41) | 件数 22件(35件)  |
| 男   | 22,520人 (-11) | 死者 1人(1人)    |
| 女   | 24,905人 (-30) | 負傷者 26人(39人) |
| 世帯数 | 20,264世帯(-19) |              |

(2013年2月末現在)

## CONTENTS 目次

- 2ページ がんばる大洲っ子・今月の表紙
- 3ページ~ あんなところでも、こんなところでも、元気がいっぱい。(特集)
- 10ページ~ おおずニュース
- 14ページ~ シリーズ
- 17ページ まちのわだい
- 18ページ~ おしらせ
- 25ページ~ 図書館・保健センター・心と体の健康ガイド
- 28ページ がんばるひと(大洲臥龍太鼓保存会)

## 今月の表紙

picture 写真



3月1日(金)、大洲保育所で行われた「ひな祭り集会」取材しました。

先生の演じる腹話術のお人形「よっちゃん」は、園児たちの人気者。よっちゃんのみばたきや口を開ける仕草に園児たちは大喜びで、楽しいひな祭りを過ごしていました。



【えひめYOSAKOI祭り】  
(えひめYOSAKOI祭り振興会)

平成25年度で節目の10周年を迎える「えひめYOSAKOI祭り」は、集客拡大と地域貢献、活性化を目的に開催されています。

平成24年度は、県内外から30チーム、延べ1000人の踊り子たちが参加し、およそ7000人の観客を巻き込んだ華麗な舞いに、会場となったアクトピア大洲前と緑地公園特設ステージは、大きな熱気に包まれていました。



【稲積花菖蒲園 他2事業】(稲積花菖蒲園)

地域資源の花菖蒲園を生かし、地域全体で観光振興に取り組んだ結果、期間中には1万人を超える来場者があり、大いににぎわいました。



【海と生き物ときずなプロジェクト～長高海物語Ⅱ～】  
(愛媛県立長浜高等学校水族館運営協議会)

全国でも注目を集めている「長高水族館」では、今回、屋外にタッチングプールや遊具を配置しました。また、シーカヤックを使った体験型自然観察による研究が行われます。

あんなところでも、  
こんなところでも、  
元気がいっぱい。

～大洲市がんばるひと応援事業補助金の活用事例をご紹介します～

大洲市独自の施策として、平成22年度からスタートした「大洲市がんばるひと応援事業補助金」。

補助開始から3年が経過し、さまざまな発想や創意・工夫のある応募がありました。

審査の結果、延べ40事業・27団体の事業が実施され、いろいろなアイデアが地域を明るく元気にしてきました。

今月号では、この3年間を一つの節目ととらえ、がんばるひと応援事業補助金がどのようなイベントに使われたのか、どのような商品開発に活用されたのか、また、ふるさと大洲にどのような効果をもたらしたのかなどを、市民のみなさんと振り返ります。

みなさんの知っている事業は、このなかにいくつありますか。

【地場産品を活かした地域ブランド開発 他1事業】

愛媛県立大洲農業高等学校では、地域産業の活性化を図るため、農産物の生産から加工・販売までの総合産業を研究し、大洲ブランドの知名度向上を目指しています。そのために、地場農産物の産地化と地産地消を推進し、地元企業と連携した商品の開発や、大洲地域の知名度向上と地域産業の活性化に取り組みました。

- ▽おいしいけうどん・ストラップなどの開発・PR
  - ▽おうど芋の試験栽培、加工品開発
  - ▽簡易水耕施設での星形・ハート形のキュウリ栽培
  - ▽農薬不使用のベビリーフの栽培
  - ▽大洲和紙製品の商品開発
  - ▽高齢者福祉施設での交流や、取り組みの展示発表
  - ▽観光マップの作製、配布
- など、さまざまな分野に挑戦し、高い評価を得ています。



大洲芋のす芋とんを考案した

尾形 茄永子 さん(左)  
 沖野 愛莉 さん(中央)  
 上田 春花 さん(右)

私たちは、「地域の伝統食材であるおうど芋を、食の財産として普及していきたい!」との思いで、栽培から加工、商品化に向けた取り組みを行っています。



大洲芋のす芋とん



大農はしセット

夢をかたちに。  
 そのかたちを  
 地域のちからに。

～活力ある地域づくりに向けて～



大洲市長

清水 裕

「大洲市がんばるひと応援事業補助金」を創設して以来、平成25年度で4年目を迎えることになりました。これまでの3年間、豊かな発想や創造力のあるさまざまな事業が展開されてきました。

地域コミュニケーションの輪を



【ほたるの里づくり】



【雲海の里づくり】



雲海まつりに参加した

石岡 一恵 さん(藤縄)

雲海から現れる朝日に照らされた藤縄神楽は、とても幻想的で見事です。

観覧席ができて、小さいお子さんや高齢者が安心して雲海まつりを楽しめるようになりました。

ぜひ、雲海展望公園へお越しください。

柳沢地区は、市内でも有数のゲンジボタルの生息地となっていて、地区をあげて環境保全に取り組んでいます。また、雲海の絶景ポイントとしても有名で、毎年、多くの観光客が訪れます。

柳沢自治会では、大洲市がんばるひと応援事業補助金を活用し、観光客にホタルへの理解を深めてもらうため、ホタルの生態などを説明した看板を設置しました。

また、雲海まつりの会場となる雲海展望公園では、訪れる多数の来場者の安全性を確保するため、足場の悪い観覧席の整備を行いました。

柳沢ほたるまつり・雲海まつりに対する問い合わせや来場者数は年々増加傾向にあり、今回の整備で利便性が向上されたことから、今後、さらに観光客の増加が期待されています。

河辺地区で活動を行っている河童会では、除雪・清掃などのボランティア活動を実施することで、高齢者・障がい者の生活支援と、環境美化による観光振興に寄与するために、除雪用ミニローダを購入し、快適な道路環境の維持に努めています。特に高齢化率の高い河辺地区では、事前の除雪希望調査で33世帯の高齢世帯から除雪の希望があり、優先的に作業が行われました。また、道路清掃活動についても、会員外から参加者があり、「助け合いの精神」が醸成されつつあります。

また、河童会では天体望遠鏡を購入し、地元の児童・生徒を対象とした天体観測教室を開催しています。年6回程度開催される教室では、子どもたちに天体観測に興味を持ってもらうとともに、自然環境への理解を深め、河辺の魅力を再発見してもらうことを目的にしています。

河童会では、地元の連携と世代を超えた交流、協働を目指してさまざまな取り組みを行っています。



天文台自然教室に参加した河辺小学校

古野 響 さん

今までも夜空を見上げて、星を数えたりしていました。初めて天体望遠鏡で見た月やオリオン座は、とてもきれいでした。また天体観測に参加したいです。



【河辺天文台自然教室】



【keep clean & keep green】

大切に事業、地域を盛り上げるための各種イベント、地域資源の掘り起こしのための事業、グローバルな視点に立つて事業を展開するもの、大洲を全国に発信するための事業など、その分野はさまざまです。市内各地域はもとより、大洲に活力を与えてくれる起爆剤の役目を果たしています。

市では、この3か年で実施された事業を「がんばるひと応援事業補助金」の集大成と位置づけ、これまで採択され、実施された事業の効果を検証しつつ、次のステップアップへつなげていきたいと考えています。

この補助金を活用することにより、市民のみなさんのアイデアが形となり、形となった事業が地域やそこに住むみなさんに活力と元気を与え、ふるさとに新たな魅力を生み出すことができます。この補助金を、できるだけ多くの人に活用してもらいたいと思います。

平成25年度の募集は、5月から始まる予定です。みなさんの積極的な応募を、心からお待ちしています。

オオズ☆ロケット団(旧・オオズの魔法使い)は、廃油を使用したキャンドルで大洲城や臥龍山荘を灯し、普段とは一味違った演出をすることで、地域資源の魅力を引き出しました。

特に、東日本大震災直後に開催された「オオズキャンドルナイト(きらめきの大洲城)」は、急きよ震災復興支援活動に切り替えて実施され、地域の枠を超え、人との連帯を深めるイベントになりました。

「艶やかおはなはん通り」大洲着物ガールズコレクション」では、ショー回あたりの来場者が300人を超えるなど、予想を上回る人出を記録しました。モデルとなったボランティア参加者全員が「次回も参加したい」と感想を述べるなど、見る側・企画した側ともに好評でした。また、モデルの準備を手がけた美容室などからも横のつながりができたと喜びの声があり、単なる催しではなく、商店街の活性化に寄与するイベントになりました。

【オオズキャンドルナイト 他3事業】  
「艶やかおはなはん通り」大洲着物ガールズコレクション」



大洲着物ガールズコレクションにモデルとして参加した

村上智恵美 さん(櫛生)

大勢の観客の前で歩くことは緊張しましたが、貴重な経験ができました。

このようなイベントが、今後も続いていけばいいと思います。

# イベント×笑顔

## 新谷地区 最大の夏のイベント



パレードには約300人が参加し、祭りを大いに盛り上げていました。花火の打ち上げも地元のみなさんに好評で、夏の夜空を彩る大輪の花に、見物する人から歓声が上がっていました。

【新谷夏祭り】（新谷商工会）

## 商店街に活気を！ にぎわいの空間を！



長浜の本町商店街において毎月第3土曜日に開催されるこのイベントでは、フリーマーケットを中心とした出店やミニライブなどが行われ、長浜地域ににぎわいと活気を与えています。

【赤橋自遊空間】  
（長浜なんとかしようぜ委員会）

## 大空に泳ぐ 勇壮な鯉のぼり



寄贈された鯉のぼり約200匹が、肱川上空を泳ぐ姿は、見る人を圧倒します。「大川鯉のぼり祭り」では、地元の人をはじめ、大勢の来場者でにぎわいました。

【大川鯉のぼり川渡し】  
（大川自治振興会）

## 地元産品を使った 郷土料理を再発見



自然の恵みに感謝し、自然との共存を考えるこの祭りでは、肱川で捕れたアユやモクズカニ、菅田産のサトイモを使ったいもたきなどを提供し、約1,300人の来場者が舌鼓を打ちました。

【菅田グルメまつり】  
（肱川漁協菅田支部）

## 龍馬とともに まちを元気に



坂本龍馬脱藩150年を記念して、「龍馬の海祭」、「龍馬生誕祭」、「龍馬の風祭」、「龍馬脱藩の川下り」など、さまざまなイベントやグルメの祭典が行われました。（一部は4月開催）

【「龍馬出発（たびだち）ロード」  
における「龍馬の四季祭」】（長浜商店連盟）

## 伝統芸能の継承と 伝統行事の復活



櫛生地域の伝統芸能である「牛鬼」を修繕し、復活させました。また、会員である青年層とともに地域の行事に参加し、地域を大いに盛り上げました。

【伝統芸能の保存伝承及び地域特色を活かしたイベント】  
あいきょうくしゅう  
（愛郷櫛生一団楽）

# 文化継承×商品開発

## 和太鼓の復活で 新しい文化を生み出す



補助により購入した和太鼓を用いて、扇子踊り、手踊りなどの指導を行い、各種行事でその成果を披露しました。

今後も、地域を元気にする活動を継続して行うことにしています。

【新正山文化芸能相承】<sup>そうしょう</sup>（遊戯）<sup>ゆうご</sup>

## 世代間交流と コミュニケーションを



獅子舞の復活を呼びかけたところ、会員が15人から25人に増え、次世代へ継承できる体制が整いました。

獅子舞により秋祭りが盛り上がり、以前の活気をよみがえらせることができました。

【伝統芸能（獅子舞）復活】  
（菅田獅子保存会）

## 生産者・製造者・消費者の ネットワークづくりを



委員会では、開発商品10種類のうち、8種類を商品化しました。今後は質の高い商品開発と併せ、この企画に参加する店舗数、農業生産者数、消費者数の拡大を目指しています。

【地域資源開発（地産地消スイーツ開発）】  
（大洲スイーツ百物語実行委員会）

## 大洲コロッケの普及と 大洲のイメージアップを



大洲産業フェスタ2011や南予グルメ選手権2011に出品された大洲コロッケは、かなりの反響を呼び、好評を博しました。委員会では、今後も宣伝に力を入れ、大洲をアピールしていくことにしています。

【大洲コロッケ普及】  
（大洲コロッケプロジェクト委員会）

## ブランド商品の開発と 普及を目指して



3か年で商品開発を目指すこの事業では、数多くのレシピが完成し、販売に向けた準備が進められています。

商品は今後、たいき産直市「愛たい菜」で販売される予定です。

【農産物加工品開発】  
（JA愛媛たいき女性部）

## ブランド米の生産で 地域再生と活性化を



新谷の喜多山地区で取り組まれているこの事業は、農業経営者が「助け合う」ことで、農業を再生する試みです。

また、花木の植栽による里づくりなどに取り組み、活気ある地域づくりを目指しています。

【ブランド米創造、地域活性化】  
（ふるさと再生グループ「みらい」）

あなたのすぐそばで、がんばるひとが地域を元気にしています。  
あなたも何かにチャレンジしてみませんか。

## 【買物弱者対策支援】（豊茂自治会）

豊茂自治会では、地域内の買い物弱者に生活用品などを配達し、安心安全な生活支援とコミュニケーションづくりを行うため、配達用車両を購入しました。この取り組みにより、配達などの支援と併せて、いろいろな話題の提供・コミュニケーションを図ることができ、地域で安心して生活できる環境を整えました。



## 【にぎわい大洲 がんばる商店街 他2事業】 （大洲スタンプ協同組合）

商店街が協働してイベントを行うこの事業は、人と人との「絆」を大切に、「おもてなしの心」で事業を展開しています。各商店街とのコラボレーションも確実に結束を強めていて、商店街の活性化の一役を担っています。この事業は、今後も継続して行われる予定です。



## 【地域資源再発見、開発】

（大洲まちづくりフリーサロン実行委員会）

この事業では、地域特性を再認識するという観点から、今まであまり取り上げられることのなかった地域資源について、新しい角度から見直し、マップを作成しています。今後は、他の分野とも連携を図り、より踏み込んだ住民参加型のマップ作製に取り組む予定です。



## 【だんだんVOL.6】（だんだん）

この事業では、大洲のオシャレなお店や料理の美味しいお店、お勧めの風景など、情報誌感覚のマップを作成しました。このマップには、多くの人に手に取って見ていただくことで、大洲のイメージアップを図りたい、観光客に地元の郷土愛を伝えたいという熱い思いが込められています。







【キッズプログラム・プロジェクト 他2事業】  
(NPO法人  
おおずスポーツクラブ)

地域づくりを担う人材の育成と健康増進、地域の活性化を目的としたこの事業は、開催数140回、約260人の参加がありました。おまつり村にも参加し、ブースでは器具を使っての健康チェックなどを実施しました。今後は、あらゆる世代がスポーツに親しむことで健康を維持し、仲間づくりができる環境整備を目指すことにしています。



【小学生スポーツ交流事業】  
(菅田サッカースポーツ少年団)

スポーツ活動の環境整備とコミュニケーションシステムを構築し、子どもの健全育成、地域活性化を図ることを目的に実施された小学生スポーツ交流事業には、計10回の開催で延べ500人余りの参加者がありました。この事業には保護者も参加し、子ども同士・親子同士のコミュニケーションが図られました。



【河川美化保全】  
(菅田清流の会)

この事業は、清流・肱川の良好な生態系を維持するために、清掃活動を行うとともに、河川沿いに繁茂する竹林を伐採し、竹炭を製作することで地域の伝統・文化を次世代に継承するものです。こういった取り組みを後世に引き継ぐために、地元中学校の生徒や保護者を対象にした講演会なども開催されました。



【米軍飛行艇遭難60年記念式典】  
(豊茂慰霊碑保存会)

約60年前に米軍飛行艇が墜落した豊茂地区では、消火・救援を行った住民の活動とお互いの友好の証として、平成21年に慰霊碑が建立されています。今回、記念式典が開催され、在日米海軍司令官をはじめ国内外から来賓を招き、国際交流が図られました。また、この歴史を後世に引き継ぐため、式典や当時の様子を収めた記念誌が作成されました。

〳はじめの一歩から、  
もう一歩前に〳

「大洲市がんばるひと応援事業補助金」を活用した事業には、子どもからお年寄りまで、数多くの市民のみなさんが関わり合いを持っています。

私たちの生活に溶け込んだこれらの事業は、地域に活力と元気を与え、魅力ある地域づくりに貢献しています。

この補助金を活用し、いろいろなアイデアを形にする人、形になった事業に協力する人、その活動に参加して、一緒に地域を盛り上げる人。関わり合いの方法などはさまざまですが、お互いの協働があつてこそ、初めて地域を盛り上げることができます。

がんばるひと応援事業補助金の創設の趣旨は、新しい事業を考えている人を応援し、経済面のハードルを低くして、事業に取り組みやすくするものです。

制度創設から4年目を迎える今年度、大洲市では、「はじめの一歩」と併せて、「もう一歩前に」を目指す市民のみなさんを応援していきます。